

「逆世見」－ 法眼光語における禁忌の解説

法眼光語の教えにおける「逆世見」は、非常に重要な禁忌とされています。この概念を理解するには、まずその意味と背景を知ることが大切です。

逆世見の本質

「逆世見」とは、三色の光の流れが「黒・緑・白」であるべきところを、「白・緑・黒」の逆の順序で扱うことを指します。これは、法眼光語が教える宇宙の根本的なエネルギーの流れに対する冒涇とされており、これを行うことは禁忌とされています。

逆世見の影響

法眼光語では、正しい流れに従うことで、自然のエネルギーを体内に取り込み、生命力を保持することができるとされています。「黒・緑・白」の順序は、宇宙の創造から維持、そして完成という循環を象徴しており、これに従うことで、個人は自然と調和し、豊かな生命エネルギーを享受することができます。

しかし、これを逆にする「白・緑・黒」という流れは、自然のエネルギーを体内から排出する結果となります。これにより、生命エネルギーが枯渇し、霊的・肉体的に衰退する危険性があります。具体的には、逆世見を行うことで、エネルギーの循環が滞り、逆に宇宙の調和を崩してしまうとされています。

高度な修練者の活用

一部の修練者は、逆世見を意図的に利用することがありますが、これは非常に高度な技術であり、通常の学び手には必要ない知識とされています。彼らはその危険性を理解し、慎重に使用することが求められます。初心者や一般の修練者には、逆世見を知る必要はなく、まずは正しい流れを守ることが基本とされています。

禁忌の教訓

逆世見の禁忌は、単なるルール以上の意味を持ちます。それは、宇宙の摂理や自然の流れに対する尊重を示しており、これに従うことで、人間は自然との調和を保ち、健康で豊かな人生を送ることができるとされています。この禁忌を通じて、法眼光語は自然との一体感や宇宙の法則を守ることの重要性を教えています。